

令和4年度 教育活動に関するアンケート【分教室職員】（年度末）

秋田県立ゆり支援学校道川分教室

◎実施時期：令和4年12月 ◎回答数：4/4（100%）
 ◎評価：4：十分できている 3：ほぼできている 2：不十分である、1：できていない
 ◎上段：評価者数 下段：割合（%） 網掛け：2・1評価が10%以上

領域	No.	項目	評価（R4中間）				評価（R4年度末）				前期比
			4	3	2	1	4	3	2	1	
A 今年度の重点	1	移管後の教育活動を見据えた準備が行われている（秋田きらりととの交流活動、移行支援の検討、病院との連携体制の見直し等）。	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→
	2	分教室の閉室に係り、教育活動のまとめと発信が行われている（研究成果の活用、ホームページを活用した情報発信等）。	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	→
	3	生徒の実態に応じた教育課程の編成に向け、研究計画の共通理解の基、授業づくりが行われ、個別の指導計画等の改善につなげている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→
	4	病棟との情報交換やリハビリ参観などを通して、指導・支援の充実が図られている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	5	外部人材の活用や、研修会等の実施により、職員一人一人の指導力と専門性の向上に努めている。	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↗
B 学校運営	6	管理職は、学校運営の方針を具体的に分かりやすく校内外に伝えている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	↗
	7	今年度の学校運営の重点や、学部、学年の指導方針を保護者に分かりやすく伝えている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↗
	8	訪問による教育を行う分教室として、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	9	職員同士が連携、協力して教育活動を行い、一人一人が積極的に学校運営に参画している。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	10	生徒は学校生活を楽しみ、目標に向かって学習している。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
	11	学校内外の資源を活用した教育活動を工夫して行っている。	1 25%	3 75%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↗
C 運営組織	12	分教室運営組織は、教育目標や課題の達成に適した組織になっている。	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↗
	13	今年度の重点事項を達成するために、学部・分掌が機能している。	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↗
	14	学部や分掌等において、職員は適材適所に配置されている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→
	15	学部や分掌等の業務は、適切に分担されている。	3 75%	0 0%	1 25%	0 0%	1 25%	3 75%	0 0%	0 0%	→
	16	サービスの効率化が図られている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→
D 学習指導	17	重度・重複障害教育の専門性に基じた授業や教育活動を行っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	18	生徒の特性や発達段階を理解して個に応じた指導を行っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	19	I C T を効果的に活用した指導・支援の工夫が図られている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
	20	教育課程や学習内容、指導方法は児童生徒一人一人の教育的ニーズに合っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	21	年間の目標や学習内容等について、保護者理解の基、指導が行われている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→

領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
			4	3	2	1	4	3	2	1	
E 生徒指導・進路指導	22	生徒や保護者の希望や要望を理解し、適切で丁寧な対応をしている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→
	23	生徒の人権を重んじ、個々の良さや可能性を伸ばす指導をしている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→
	24	学校は、将来の生活に必要な力を育てている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	→
	25	学校は、病院及び保護者へ卒業後の生活に関する情報を提供している。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→
領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
4	3	2	1	4	3	2	1				
F 行事等	26	個々の目標を明確にして生徒の成長につながる指導を行っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	↘
	27	行事や校外学習の回数や内容、経費について、適切に計画・実施している。	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	→
領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
4	3	2	1	4	3	2	1				
G 地域支援	28	「個別の支援計画」について保護者に丁寧に説明し、合意形成に基づく個に応じた支援を行っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
	29	地域等の病弱教育ニーズに対応した支援や、秋田きらり支援学校への情報提供等を行い、センター的機能を果たしている。	1 25%	3 75%	0 0%	0 0%	1 25%	2 50%	1 25%	0 0%	↘
領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
4	3	2	1	4	3	2	1				
H 研修	30	職員及び学校の専門性の向上を目指し、計画的に研修を推進している。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
	31	職員一人一人は研修に励み、自己の指導力の向上に努めている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
4	3	2	1	4	3	2	1				
I 安全管理	32	学校は、安全点検や安全管理（事故防止対策、緊急体制、個人情報の管理など）を適切に行い、安心して学習できる環境を整えている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	↗
	33	避難訓練や防災研修等を計画的に行い、全校職員が災害等の危機に的確に対応できるようにしている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→
領域	No.	項目	評価 (R4 中間)				評価 (R4 年度末)				前期比
4	3	2	1	4	3	2	1				
J その他	34	職員は綱紀の保持に努め、保護者や地域住民等の信頼を得ている。	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	3 75%	1 25%	0 0%	0 0%	→
	35	職員は病院関係者への連絡を密に行っている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	↘
	36	会計簿などの諸表簿や簿冊の管理が適切になされている。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→
	37	P T A 活動や面談などを通して、保護者と職員が協力して教育活動に取り組んでいる。	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%	→